

内外交差点

変革期に柔軟に変化できる業界たれ X Taxiとは何者か?⑧

平島 誉久氏 (X Taxi 経営力向上委員長) 8人目/12人

晩秋の折、峠を走ると雪もちらほら見るようになった北海道。本州に出向くとお昼のポカポカ陽気が羨ましく感じます。今月はすっかり寒くなりタイヤもスタッドレスに履き替えた北の大地で事業を営んでいる、互信HD（愛称=ハートタクシー）代表取締役、X Taxi 経営力向上委員長の平島誉久より筆を取らせていただきます。

時は遡り数年前、X Taxi 発足という言葉が紙面で見ました。誤解を恐れずストレートに見た時の気持ちを表現しますと「徳島の田舎のお兄ちゃんが、開発した無線システムを拡げたいために、横文字使って若手を集めてんな」くらいにしか思ってませんでした（近藤代表、この場をお借りしまして伏してお詫び申し上げます）。やるかやらないかの選択肢が目の前に現れた時には基本的にやるを選択する私も結局関わり約1年。私も歳を取り、知りもしないのに勝手に邪推した自分が居たと気付きました。いつしか北海道でタクシーに関してほぼ聞いた話題しか無くなっていった頃、クロスの間は各都府県で意欲的に活躍していますので全国の先進事例や特筆した取り組み、タクシーに関する情報が毎日目まぐるしく入ってきます。皆オープンで包み隠さずつまびらかに話をしますので、目から鱗の話や特例で認められている話、やっちはみたものの失敗した話やもっと良くして再チャレンジする話などのオンパレードです。皆様各地でやるという選択やチャレンジするという前向きな選択をしてきているんだと肌で感じ、刺激になる毎日。ライドシェアだ2種免緩和だ外国人材活用だと、コロナ禍に引き続き何かと慌ただしく対応を迫られる日々だったとしても、各地域で必要なことを着々と続けている全タクシー関連事業者の皆様。新たな挑戦や閉塞感の打破に向けクロスを覗いてみるのも良いかもしれません。

さて、自身の話題としてはニセコモデルに深く関わっています。概略を説明しますと各地で起きているタクシー不足問題解消に向けた取り組みで、特に冬期間俱知安ニセコエリアでは近年、オーバーツーリズム状態となり町民や観光客の移動に支障をきたしています。これを緩和する方策として各地域から応援隊を募り、俱知安・ニセコエリアを走る域内タクシーとして活躍していただくという算段で、実証実験にも位置付けられる本年は、10両25人程度の体制を構築し12月中旬に運行開始予定。いずれこちらの事例がニセコモデルとして、多少なりとも

全国の皆様のお役に立つことが出来たならとの思いで取り組んでおります。ニセコモデル運行開始に向け、ご尽力・ご協力いただきました関係各様に心より厚く御礼申し上げます。流石の発案力を発揮された方をはじめ、調整力や実行力などが加わって変化への挑戦。非常に勉強になり、良い経験をさせていただきました。



その他、社業を受け継ぎ12年目を迎え、やりたかったことを形に出来てきた事業もあります。TAXI NEXTという名前で2020年8月5日に創立した新会社はこれまで何かと理由をつけてしまい達成できずにいた、タクシーに関するあらゆることを自分や会社、社員達にも妥協せず追い求め続けようとの理念の元に立ち上げました。こう書くとなんだか堅苦しいことを始めようとしているのではと思われるかもしれませんが、単純に書きますと柔軟に働きやすい職場環境作り、しっかりと社員教育の実施。この2点を準備しながら、お客様にTAXI NEXTとしてどんな価値を提供しているのかを伝えます。例えば日勤として週休3日制の導入、新卒者に対しては個々の理解力に合わせて3カ月～半年に及ぶ研修カリキュラム。幅広い資格取得支援、クルー（乗務社員の総称）1人1人にスポットライトが当たる環境整備などなど。必要と思ったことやクルーから要望のあることは何でもチャレンジする風土がここにあります。お客様にも潜在的リスクを無くすことをお約束するのですから、年齢にも気を配り現在32歳平均、事故防止講習や地理習熟研修にも時間をかけます。ドアサービスを基本とし、お忘れ物ゼロと乗降時の怪我リスク根絶を目的としています。当然お金はかかり火の車状態ですが、未来への投資として今後も鋭意取り組んで参ります。

今の若者たちは私たち世代と比較できないほど新しい世界に触れ続け教育を受けてきています。私も小学生の子供が3人おりますが、学校から各々タブレット端末を渡されリモート授業を受けたりプログラミング思考を学んでいますので、より情報量が豊富な環境で育ち、当たり前のようにPCやスマホを使いこなしています。今の10代20代の未来ある若者たちを見ていると時代の変化を感じ、こちらも変化していかないと取り残されるという強迫観念すら芽生えますが時既に遅し。やれることは若者の意見を最大限に取り入れてあげることと、たくさん失敗させてあげられる状態を作ってあげられることではないかなと思うようになりました。自動運転に代表されるようにタクシー大変革期に突入、今の時代に合わせて柔軟に変化していける業界であることと皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして結びとさせていただきます。ありがとうございました。